

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成25年5月30日(2013.5.30)

【公表番号】特表2012-523569(P2012-523569A)

【公表日】平成24年10月4日(2012.10.4)

【年通号数】公開・登録公報2012-040

【出願番号】特願2012-504866(P2012-504866)

【国際特許分類】

G 0 1 N	33/543	(2006.01)
C 1 2 N	5/074	(2010.01)
C 1 2 N	5/04	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 1 2 N	15/115	(2010.01)
C 1 2 M	1/00	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
G 0 1 N	37/00	(2006.01)

【F I】

G 0 1 N	33/543	5 2 5 E
C 1 2 N	5/00	2 0 2 D
C 1 2 N	5/00	2 0 3
C 1 2 N	15/00	A
C 1 2 N	15/00	H
C 1 2 M	1/00	A
C 1 2 N	15/00	F
C 1 2 N	5/00	1 0 2
C 1 2 N	5/00	1 0 3
G 0 1 N	33/53	Z N A D
G 0 1 N	33/53	Y
G 0 1 N	37/00	1 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成25年4月3日(2013.4.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

天然の官能基を含む表面を有する細胞であって、細胞壁を持たない細胞；及び該天然の官能基に共有結合される核酸部分を含む組成物。

【請求項2】

細胞が初代細胞である、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

細胞が哺乳動物細胞である、請求項1に記載の組成物。

【請求項4】

細胞が幹細胞である、請求項1に記載の組成物。

【請求項 5】

天然の官能基が、リジン、システイン、チロシン、スレオニン、セリン、アスパラギン酸、グルタミン酸及びトリプトファンからなる群から選択されるアミノ酸を含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項 6】

天然の官能基がリジンを含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項 7】

核酸部分が、オリゴヌクレオチド、DNA、RNA、PNA及びアプタマーからなる群から選択されるメンバーを含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項 8】

核酸部分が一本鎖DNAを含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項 9】

核酸部分が約10～約200個の核酸を含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項 10】

核酸部分がアプタマーを含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項 11】

核酸部分がリンカーを含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項 12】

細胞表面上にリジンを含む哺乳動物細胞；及び
アミドを介してリジンに共有結合される一本鎖デオキシ核酸
を含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項 13】

細胞と活性化された核酸部分とを接触させることを含む、細胞と核酸部分とのコンジュゲートを製造するための方法であって、ここで、細胞は天然の官能基を含む表面を有し、細胞は細胞壁を持たず、それにより核酸部分が天然の官能基に共有結合される方法。

【請求項 14】

活性化された核酸部分が活性化エステルを含む、請求項13に記載の方法。

【請求項 15】

哺乳動物細胞と活性化された核酸部分とを接触させることを含み、ここで、天然の官能基がリジンを含み、活性化された核酸部分がNHS-エステルを含み、それにより核酸部分がアミド結合形成によって天然の官能基に共有結合される、請求項13に記載の方法。

【請求項 16】

細胞表面の天然の官能基への共有結合に適した活性化された核酸部分；及び活性化された核酸部分に相補的な核酸部分を含む基質表面を含むキット。